

# 監査報告書

平成31年5月21日


社会福祉法人向陽福祉会

理事長 山口 康二 殿

監事

永野 卓美 

監事

萬谷 正樹 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### ① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### ③ 向陽福祉会の現状に鑑み、今後検討すべきと考えられる事項について付言いたします。

独立行政法人福祉医療機構からの借入元本3,360万円をみなと銀行から本年5月中に低利率（年利3.1%⇒0.84%）の資金に借り換えることになっており、資金繰りの改善と、財務の健全化に向けた努力の跡は認められますが、りんどう苑の人件費率は厚生労働省のベンチマークと比較しても遙かに高く、このことが経営を圧迫していることは明らかです。老健の開設当初は多くの事業者を呼び込むために点数も高く設定され、余裕の

ある人員配置が可能であったという経緯もあります。しかしながら現状は医療費の高騰を抑え込むために厳しく点数が絞りこまれ、どの老健も悪戦苦闘を強いられているのが現状です。今後はこのような収益構造の変化に対応した人員配置体制に積極的に取り組んでいく必要があると思わます。

以 上